

## 農業共済新聞 千葉版

掲載号	9 月 2 週号	
筆者	所属	農林総合研究センター
	職名及び氏名	研究員 佐藤 侑美佳
題名	冬どりホウレンソウ、千葉県で作るならこれだ！ ～冬どりホウレンソウ品種審査会結果～	
備考	【表説明】 表1 入賞品種の審査結果及び収量・品質	

### 【本文】

千葉県は、ホウレンソウの作付面積が2,370ha、産出額が131億円(平成21年産)で、全国でも有数のホウレンソウ産地です。主に東葛飾地区を中心に周年生産されています。しかし近年、長年の連作による収量及び品質の低下が問題となっています。これらを回避して、安定的な生産を実現するためには、適切な管理技術の開発や、病害に強い優良品種の選定が必要です。そこで、本県ホウレンソウの主要な作型である冬どり栽培において、各種苗会社の品種の特性を明らかにし、千葉県に適した優良品種を選定しました。優良品種の条件として、葉色が濃いこと、株張り及び揃いが良いこと、べと病に強いこと、立性であり収穫しやすいことなどの特性を有しているものとししました。なおこの試験は、第58回千葉県野菜品種審査会(ホウレンソウの部)として実施しました。

審査した20品種のうち、上位6品種は、「ハンター」、「エリナ」、「MSS-1005」、「C8-033」、「クロノス」、「クローネ」でした(表1)。これらの6品種は、いずれも欠株が少なく、草姿は「クロノス」を除くと立性で、葉色も濃い緑で優れており、千葉県に適した優良品種であることがわかりました。

今回の審査結果を参考にして、それぞれの圃場に適した優良品種を選択し、ホウレンソウの品質向上に挑戦してみたいかがでしょうか。

表1 入賞品種の審査結果及び収量・品質(平成22年10月15日播種、12月22日審査)

順位	品種名	出品社名	得点			草姿	収量 (kg/10a)	株長 (cm)	葉色 (spad値)
			立毛	収穫物	合計				
1	ハンター	カネコ種苗(株)	82.8	82.6	165.4	立性	1.94	29	56.1
2	エリナ	タキイ種苗(株)	83.3	81.7	165.0	立性	1.64	28	59.8
3	MSS-1005	(株)武蔵野種苗園	82.5	81.9	164.4	立性	1.75	28	60.1
4	C8-033	(株)サカタのタネ	78.1	83.5	161.6	立性	2.00	29	53.0
5	クロノス	(株)サカタのタネ	80.6	80.2	160.8	中間	2.05	32	56.9
6	クローネ	中原採種場(株)	81.7	78.2	159.9	立性	1.62	28	56.8
参考	トラッド	(株)サカタのタネ				立性	2.49	31	41.5
	ミラージュ	(株)サカタのタネ				立性	1.89	29	57.6

注1) 配点は立毛100点、収穫物100点の合計200点満点とした。

注2) 株長は、収穫物の中で5番目に大きいものの値。

注3) 葉色は、数値が大きいほど濃いことを示す。